



Microsoft Windows 7 for Embedded Systems
(FES) 延長セキュリティ更新 (ESU)
プログラム

展開ガイド (3年目)
(2022年1月12日～2023年1月10日)

免責事項 - お読みください。.....	4
拡張セキュリティ更新プログラム (ESU) の概要	5
Microsoft ESU プログラムとは?	5
展開の概要	5
重要事項:	6
更新プログラムの入手先	6
ESU の展開とインストール	7
ESU キーのインストール	7
ローカル展開	7
スクリプト内での slmgr の実行例	7
PowerShell スクリプトの例	8
ESU セキュリティ更新プログラムのインストール	8
トラブルシューティング	9
付録	10
前提条件項目と ESU セキュリティ更新プログラムのインストール	10
重要事項:	10

免責事項 - お読みください。

EFI では、ESU の一般的な展開プロセスを紹介するとともにユーザーによるプロセスの計画および準備に役立てるために、本書を「現状のまま」提供します。本書に記載されている情報（URL やその他の参照用インターネット Web サイトを含む）は、予告なしに変更される場合があります。

本書は、Microsoft 製品のいかなる知的財産権もユーザーに提供するものではありません。ユーザーは、本書を内部での参照目的でコピーおよび使用することができます。

拡張セキュリティ更新プログラム (ESU) の概要

Microsoft ESU プログラムとは？

Microsoft では、Microsoft の 10 年間のメインストリームサポート期間および拡張サポート期間が終了した Windows 7 for Embedded Systems (FES) のセキュリティ更新プログラムを最長 3 年間にわたって提供する ESU プログラムを開発しました。

Microsoft ESU プログラム	製品サポート終了日
Windows 7 for Embedded Systems (FES)	2020 年 1 月 14 日

展開の概要

3 年目の ESU キーをインストールする前に、前提条件となる次の項目をあらかじめデバイスにインストールしておく必要があります。

- 1 最新のアップデートによって最新の状態になっているデバイス。
- 2 アップデートが保留になっている場合は、インストールする必要があります。
- 3 オペレーティングシステムがアクティベートされている。
- 4 SHA2 アップデート (デバイスのアップデート状況によっては、すでにこれがインストールされており、必要ない場合があります)。

- [KB4474419](#)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4474419/sha-2-code-signing-support-update>

- 5 サービススタック更新プログラム (SSU)

- [KB4490628](#)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4490628/servicing-stack-update-for-windows-7-sp1-and-windows-server-2008-r2>

- 6 ESU サービススタック更新プログラム (SSU)

- [KB4562030](#) 以降

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4562030/servicing-stack-update-for-windows-7-sp1-and-server-2008-r2-sp1>

- 7 2020 年 1 月セキュリティ更新プログラム (月例)

- [KB4534314](#)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4534314/windows-7-update-kb4534314>

8 拡張セキュリティアップデート (ESU) ライセンス作成パッケージ

- KB4538483

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4538483/extended-security-updates-esu-licensing-preparation-package>

9 3年目用 ESU ライセンスキー (アクティベーションは必要ありません)

重要事項：

- 上記の KB 番号は変更されることがあります。マンスリーロールアップのプレビュー (たとえば、Windows 7 のマンスリー品質ロールアップの 2019 年 10 月プレビュー) の 10C リリースを探してください。
- ESU キーのオンラインアクティベーションは必要ありません。
- ESU キーをインストールする前に、ESU ライセンス更新プログラムをインストールしておく必要があります。
- ESU キーは、Windows 7 for Embedded Systems (FES) でのみ機能します。
- ESU キーはアドオンキーであり、現在の OS ライセンスまたはアクティベーション状態には影響しません。

ESU の前提条件項目と更新プログラムは、Microsoft がこれまで毎月火曜日にリリースしてきた従来の更新プログラムと同じように作成されます。そのため、オペレーティングシステムを初めてインストールして以来セキュリティ更新プログラムのインストールに使用してきたのと同じプロセスおよびツールを使用して、ライセンス更新プログラム、ESU サービススタック更新プログラム (SSU)、そして最終的に ESU セキュリティ更新プログラムをインストールできます。要するに、これまでデバイスへの更新プログラムのインストールに使用してきた方法は、ESU の前提条件項目と ESU セキュリティ更新プログラムに対しても使用できます。つまり、サードパーティ製ツールを含め、これまで使用してきた同じツールを使用できます。

インターネットに接続していないデバイスについては、デバイスのダウンタイムやサービスコストが新たに発生しないように、ESU ライセンス更新プログラム、ESU キー、ESU サービススタック更新プログラム (SSU) のインストールを通常のサービススケジュールに含めることを Microsoft は推奨しています。ただし、ライセンス更新プログラムと ESU キーを先にインストールし、ESU サービススタック更新プログラム (SSU) を後日インストールすることもできます。これら 3 つの項目をすべてインストールしてから、ESU セキュリティ更新プログラムをインストールする必要があります。

前提条件となるこれらの項目をインストールするためのダウンタイムを計画に入れておく必要があります。ライセンス更新プログラムは、通常の月次累積的更新プログラムに含まれています。そのため、リポートが必要になります。ESU サービススタック更新プログラム (SSU) の場合は、リポートは必要ありません。必要なダウンタイムは、デバイスの CPU 速度、ディスク速度、メモリによって異なります。しかし、一般的にこれらの前提条件項目のインストールには、これまでの累積的更新プログラムの場合より長い時間はかかりません。ESU キーは実行中のデバイスにインストールできるため、キーのインストールにはダウンタイムは必要ありません。

更新プログラムの入手先

前提条件項目、ESU ライセンス更新プログラム、ESU サービススタック更新プログラム (SSU)、およびそれ以降の月次 ESU セキュリティ更新プログラムは、Windows Update (WU)、Windows Server Update Service (WSUS)、Microsoft Update カタログ catalog.update.microsoft.com{2} などの標準的なチャンネルを通じて公開されます。

ESU の展開とインストール

使用しているデバイスがネットワークに接続されているか（リモート展開）オフラインか（ローカル展開）によらず、上記のとおり、オペレーティングシステムを初めてインストールして以来セキュリティ更新プログラムのインストールに使用してきたのと同じプロセスおよびツールを使用して、ライセンス更新プログラム、ESU サービススタック更新プログラム (SSU)、そして最終的に ESU セキュリティ更新プログラムをインストールできます。詳しくは、[付録](#)を参照してください。

ESU キーのインストール

ESU ライセンス更新プログラムをインストールしたら、該当する 1 年目 /2 年目 /3 年目の ESU ライセンスキーをインストールできます。**ESU** に加入している 3 年間は毎年新しいキーが必要です。

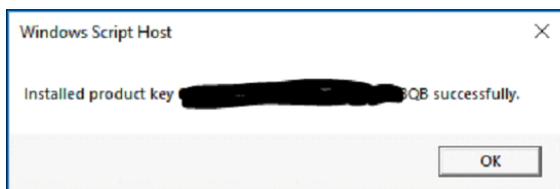
注: ESU キーをインストールする前に、ESU ライセンス更新プログラムをデバイスにインストールしておく必要があります。

使用している環境に応じて、ESU キーの展開に使用できる方法がいくつかあります。1 つの方法は、キーを各デバイスに手動で挿入するローカル展開です。その他の方法としては、Microsoft VAMT ツールや各デバイスにプッシュされるカスタムスクリプトを使用するリモート展開があります。EFI では、リモート展開方法をデバイスに使用できるかどうかカスタマーごとにわかっているものと想定しています。

ローカル展開

slmgr を使用して、ESU の 2 年目のプロダクトキーをインストールします。

- 1 システム管理者として **cmd** ウィンドウを開きます。
- 2 「**slmgr /ipk <ESU ライセンスキー >**」を実行します。
- 3 プロダクトキーが正常にインストールされたことを確認します。



キーのアクティベーションは必要ありません。

スクリプト内での **slmgr** の実行例

カスタムスクリプトを使用してデバイスを管理しているカスタマーは、次のコマンドを実行できます。

```
cscript c:\windows\system32\slmgr.vbs /ipk < ESU ライセンスキー >
```

PowerShell スクリプトの例

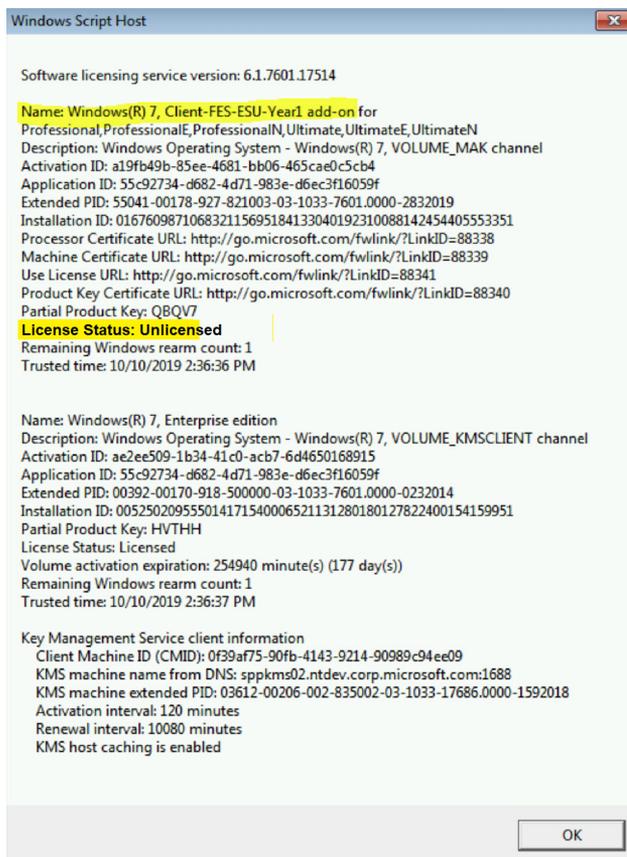
```
$productkey = "ESUライセンスキー"  
  
Write-Host "プロダクトキー $productKey をインストール中 ..."  
  
$licensingService = Get-WmiObject -Query 'SELECT * FROM SoftwareLicensingService'  
  
$licensingService.InstallProductKey($productKey)  
  
$licensingService.RefreshLicenseStatus()
```

ESU セキュリティ更新プログラムのインストール

現在セキュリティ更新プログラムのインストールに使用しているのと同じ方法で、ESU セキュリティ更新プログラムパッケージをインストールします。詳しくは、[付録](#)を参照してください。

トラブルシューティング

- 1 ESU SKU のライセンス状況を確認します。
 - a cmd プロンプトを開きます。
 - b 「slmgr /dlv」を実行します。
 - c キーが正常にインストールされると、以下を表す出力が生成されます。
「[エディション]の[製品タイプ]-ESU-YearX アドオン」
 - d ライセンス状況が「ライセンスなし」であっても正常で、問題はありません。



```
Windows Script Host

Software licensing service version: 6.1.7601.17514

Name: Windows(R) 7, Client-FES-ESU-Year1 add-on for
Professional,ProfessionalE,ProfessionalN,Ultimate,UltimateE,UltimateN
Description: Windows Operating System - Windows(R) 7, VOLUME_MAK channel
Activation ID: a19fb49b-85ee-4681-bb06-465cae0c5cb4
Application ID: 55c92734-d682-4d71-983e-d6ec3f16059f
Extended PID: 55041-00178-927-821003-03-1033-7601.0000-2832019
Installation ID: 016760987106832115695184133040192310088142454405553351
Processor Certificate URL: http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=88338
Machine Certificate URL: http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=88339
Use License URL: http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=88341
Product Key Certificate URL: http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=88340
Partial Product Key: QBQV7
License Status: Unlicensed
Remaining Windows rearm count: 1
Trusted time: 10/10/2019 2:36:36 PM

Name: Windows(R) 7, Enterprise edition
Description: Windows Operating System - Windows(R) 7, VOLUME_KMSCLIENT channel
Activation ID: ae2ee509-1b34-41c0-acb7-6d4650168915
Application ID: 55c92734-d682-4d71-983e-d6ec3f16059f
Extended PID: 00392-00170-918-500000-03-1033-7601.0000-0232014
Installation ID: 00525020955014171540006521131280180127822400154159951
Partial Product Key: HVTHH
License Status: Licensed
Volume activation expiration: 254940 minute(s) (177 day(s))
Remaining Windows rearm count: 1
Trusted time: 10/10/2019 2:36:37 PM

Key Management Service client information
Client Machine ID (CMID): 0f39af75-90fb-4143-9214-90989c94ee09
KMS machine name from DNS: sppkms02.ntdev.corp.microsoft.com:1688
KMS machine extended PID: 03612-00206-002-835002-03-1033-17686.0000-1592018
Activation interval: 120 minutes
Renewal interval: 10080 minutes
KMS host caching is enabled

OK
```

付録

前提条件項目と ESU セキュリティ更新プログラムのインストール

これらの更新プログラムをインストールする方法はいくつかありますが、使用する方法は、現在更新プログラムのインストールに使用しているプロセスと一致している必要があります。各項目には KB が関連付けられている場合があります。現在使用している方法は、次のいずれかになります。

- ボリュームライセンス認証管理ツール (VAMT)
- System Center Configuration Manager (SCCM)
- Windows Server Update Services (WSUS)
- Windows Update (WU)
- スクリプトを使用した手動インストール
- 更新プログラムのインストールに現在使用しているサードパーティ製ツール

重要事項：

ESU ライセンス更新プログラムを先にインストールする必要があります。ライセンス更新プログラムをインストールする前に、ESU キーをインストールしないでください。

セキュリティ更新プログラムの代わりとなる Microsoft リソースへのアクセスは、指定された期間の経過後に終了します。拡張セキュリティ更新プログラムへの加入中にダウンロードしたファイルが加入期間終了後に失われたり破損するなど、使用不能になった場合、アクセスを回復するにはプログラムへの再加入が必要です。

EFI では、Microsoft から最新のセキュリティ更新プログラムをダウンロードしてインストールした後、システムイメージの完全バックアップを実行することを強くお勧めします。